

やまぐち外国語教育だより vol. 5

山口県教育庁義務教育課

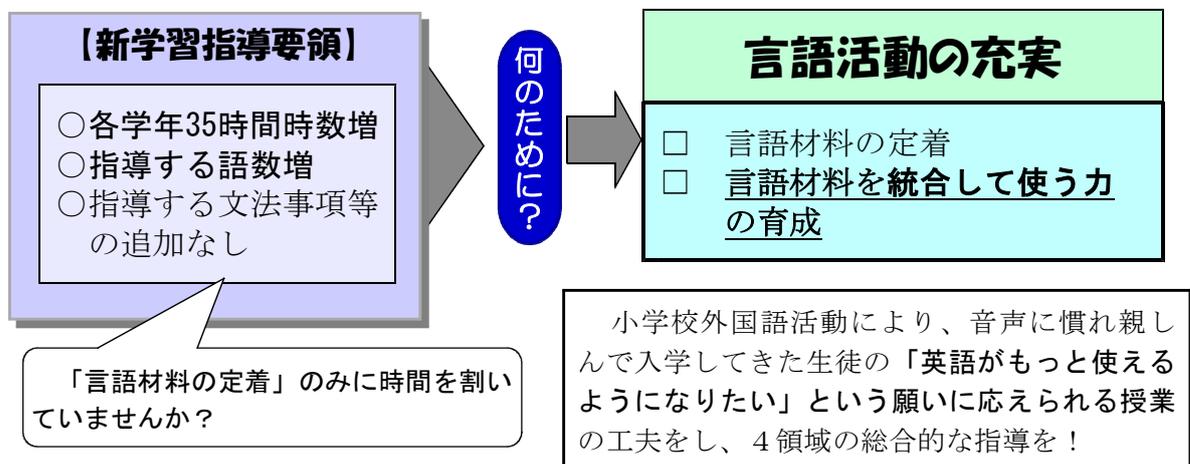
学習指導要領が全面実施となり、小学校では2年、中学校では1年が経過しようとしています。各学校においては、本年度1年間の授業実践について振り返り、総括した上で平成25年度を迎える準備を進めておられることと思います。

そこで、今回は、主に中学校の英語科担当教員が本年度の授業を振り返る視点について、紹介します。

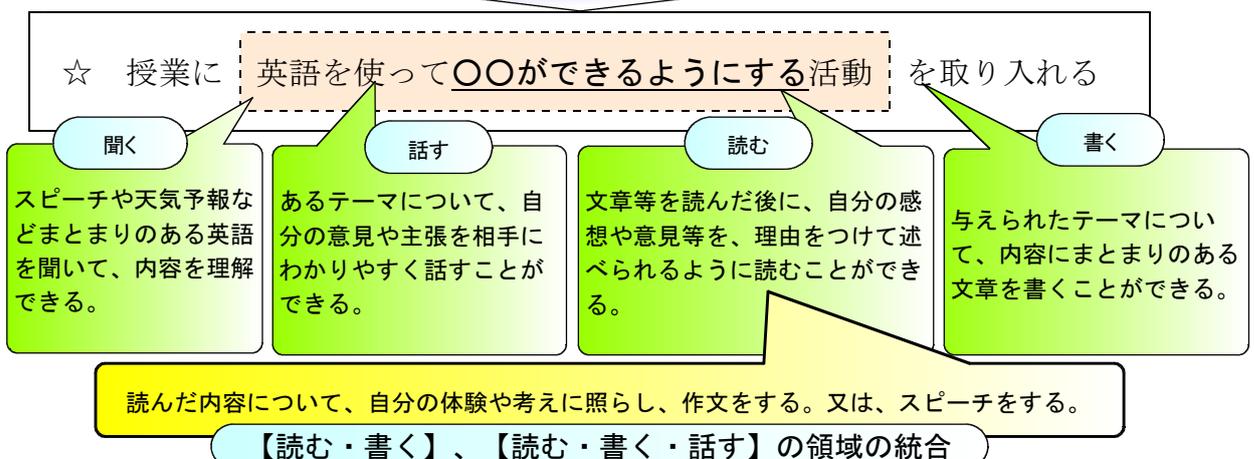
増えた授業時数35時間の産物は？

🌸 ここがポイント！

「新学習指導要領において授業時数がなぜ増加されたのか」・・・
授業計画・実践において最も意識されなければならない視点の一つです。



・・・では、どんな言語活動を行えばよいのでしょうか。



いずれも、学習した様々な言語材料の蓄積の中から、必要なものを選択して使用する活動です。増加した35時間を各単元に割り振り、単元末にどのような言語活動ができるのかを予め計画して、その活動が「できる」ようにするための指導をしていくことが大切です。

「できる」を目標とした計画がミソ

🌸 ここがポイント！

「本時の目標 = 新出単語や文を理解し、使えるようにする」の積み重ねでは、新学習指導要領の趣旨に沿った言語活動とはなりません。「学習した語彙や文を使って、〇〇ができる」ことが求められています。

文部科学省作成の「言語活動の充実に関する指導事例集」に集録されている第2学年の指導事例を紹介しますので、単元計画作成の参考にしてください。

単元名 Lesson4 Halloween

【単元の目標】 ハロウィンと日本の祭りとを比較しながら、ALTに口頭で説明する。

単元の展開(全7時間)		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
元の学習への見通しをもたせませます。まず、単元の目標を生徒に示し、単	第一次 (1)	○単元の課題の確認 ・ハロウィンや日本の祭りについて、ALTに口頭で説明しよう。	・ハロウィンについて紹介する写真を用意し、興味を高める環境を整えておく。
	第二次 (4) 本時	○ハロウィンについて理解する。(聞く・読む) ・jack-o'-lantern, apple bobbing など ○新出表現の意味・用法を理解するとともに、それらを用いた英文を話したり、書いたりする。 ・義務を表す表現(have to~, don't have to~) ・援助や協力を申し出たり、依頼する表現(shall, will, would) ・見て、聞いて感じたことを言う表現(look, sound)	・ハロウィンについての理解が深まるよう、日本の祭りと比較する。 ・日常生活で使えるよう使用場面を例示する。
	第三次 (2)	○新出表現の意味・用法について確認する。 ○ハロウィンや日本の祭りについてジャーナル(日記)に説明文を書き、それを基に口頭で説明する。	・ジャーナル(日記)をペアやグループで発表練習し合い、分かりやすい表現になっているか確認する。 ・ALTとのインタビューテストは後日実施する。

この中で、単元目標達成に向けて、言語材料の定着を図ります。

本時の目標を、単元目標達成のため設定された一つの目標と捉えます。

本時の学習(5/7時間)

<p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見て、聞いて感じたことを言う表現(look, sound)を用いて、人や物について正しく話す。 ・アップル・ボビングについての英文を読んで要点を適切に理解する。 <p>展開：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①リテリング(ALTのジャーナルを読み、内容をグループで紹介し合う) ②グラマーディクテーション(CDの英文を聞き、ディクテーションする) ③新出表現(look~, sound~の用法説明・確認) ④表現活動(新出表現を用いてペアで会話→会話内容の発表→英作文) ⑤本文内容理解
--

Can-Doリスト形式の学習到達目標の設定

各単元の学習到達目標を「英語で何ができるようになるか」として示し、年間指導計画に位置付けて実践することで、「言語活動の充実」が図られます。また、日々、教科書を始めから順に教えることに追われる授業から、「教科書で」教える授業への転換にもつながります。